



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その66

伊勢の外宮入口近くに建つ「式年遷宮記念せんぐう館」です。栗生明の設計により、2012年にオープンしました。20年に一度行われる遷宮では本殿が建替えられますが様々な宝物類も更新されます。それらの詳細な展示を巡ると、大空間に建つ、圧巻の本殿原寸大レプリカに導かれます。帰路では、再び勾玉池が現れ、水面を眺めながら進み出口へと至ります。

CURRENTLY WORKS



飲食店のエントランスホール・・・お迎えの設え

老舗のうなぎ屋で、テーブル、椅子、照明器具のリニューアルに合わせテイクアウト用の収納機能と、通販事業の広報機能を併せ持った什器をデザイン・製作しました。入り口を入った時のアイキャッチャーとなることも意識して計画しています。ロゴや包装容器と同様のカラーを使い柔らかい間接照明を回すことで、お客様をお迎えする設えとなりました。

PRIVATE TOPICS



藤原のこだわり その14

今回は、京都左京区にある「詩仙堂」です。徳川家の家臣であった石川丈山の隠居のための山荘と言われています。また、名前の由来となった「詩仙の間」も有名です。この建物および庭園は山の斜面に造られており、山の背景を生かした設計になっています。秋は背景の紅葉が見事であり、また春はさつきが咲きみだれ、美しいの一言です。

EDITORIAL NOTE

初夢として縁起が良いと言われている「一富士二鷹三茄子」…これの語源は、江戸時代に盛んだった「富士講」のひとつが駒込にあって、その近くに「鷹匠屋敷」があり、「駒込茄子」が名産だったから…だそうです。そして、続きは「四扇五煙草六座頭」で、末広がり・上る・毛が（怪我）無いからだと…

編集担当：太田・藤原、監修：岡島